

## 地球温暖化対策計画書届出書

令和 4 年 7 月 26 日

名古屋市長 様

届出者 住 所 名古屋市中区錦三丁目23番18号ニューサカエビル7階  
氏 名 サカエチカマチ株式会社  
代表取締役社長 濱島 吉充

(代理者) 氏 名

(法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名)

市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例第98条第1項の規定により、地球温暖化対策計画書の作成について、次のとおり届け出ます。

工場等の名称	サカエチカマチ カブシキガイシャ サカエチカマチ株式会社		
工場等の所在地	名古屋市中区栄三丁目4番6号先		
業種等	業 種	不動産業、物品賃貸業	
	業務部門における建築物の主たる用途	物販店	
事業の概要	地下街維持管理		
連絡先	担当部署	会社名・担当部署	サカエチカマチ株式会社 施設部
		住 所	〒460 - 0003 名古屋市中区錦三丁目23番18号ニューサカエビル7階
	担当者氏名	川嶋 紘佑	
	電話番号等	電話番号	052-265-6392
		ファクシミリ番号	052-962-6062
		電子メールアドレス	k-kawashima@sakaechikamachi.co.jp
地球温暖化対策計画書	別添のとおり		
工場等番号	※		

注1 連絡先には地球温暖化対策計画書の内容に関する担当部署名等を記入してください。

2 ※印のある欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とします。

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	サカエチカマチ株式会社
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市中区錦三丁目23番18号ニューサカエビル7階
工場等の名称	サカエチカマチ株式会社
工場等の所在地	名古屋市中区栄三丁目4番6号先
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸している建築物)
事業の概要	地下街維持管理
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和4年7月26日 ~ 令和7年3月31日		
公表方法		掲示 閲覧	(場所)
	○	ホーム ページ	(HPアドレス) <a href="https://sakaechikamachi.co.jp">https://sakaechikamachi.co.jp</a>
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	サカエチカマチ 施設部 052-265-6382		

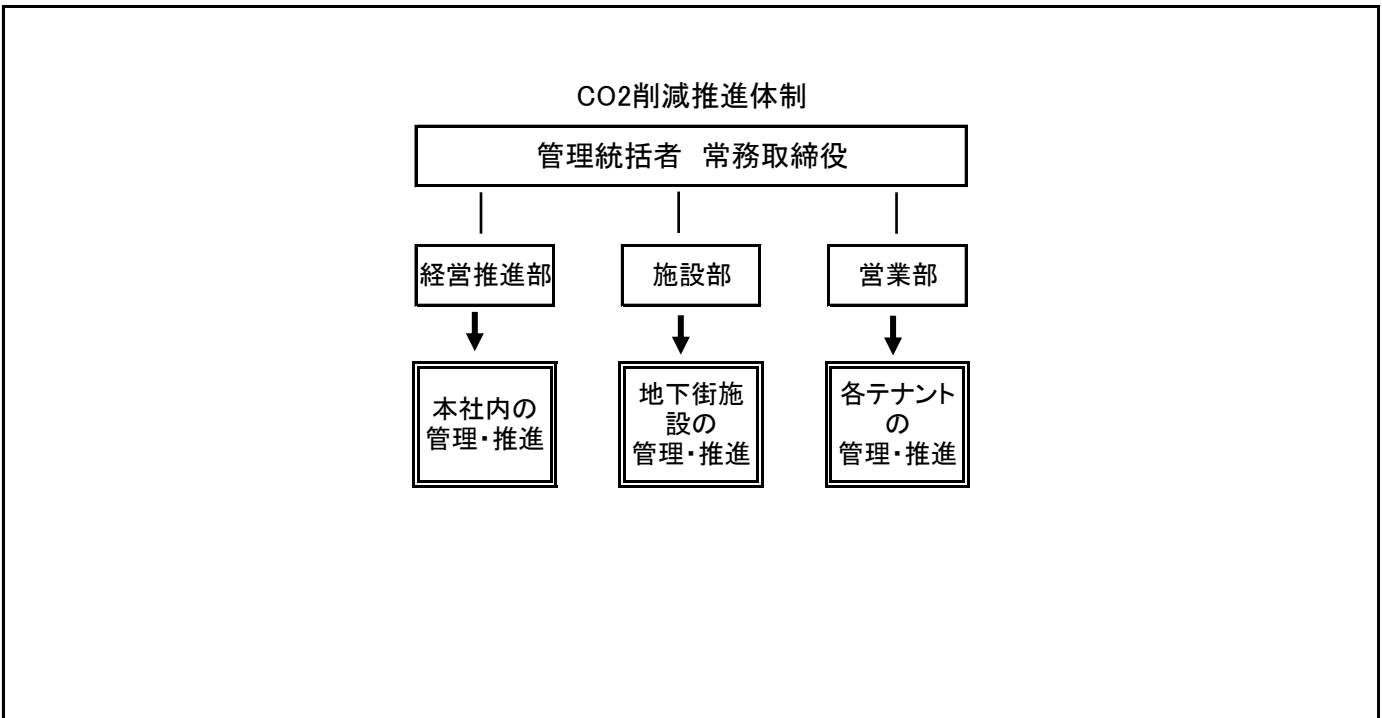
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

- 1.省資源・省エネルギーの活動を推進します。
- 2.廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進します。
- 3.冷暖房の設定温度を適正に管理します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和3年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,411	t-CO <sub>2</sub>
①を除外（二酸化炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,411

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量	2,411	t-CO <sub>2</sub>	2,387	t-CO <sub>2</sub>	1.0

項目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	原単位あたりの 排出量		CO <sub>2</sub>		CO <sub>2</sub>	

（2）目標設定の考え方

温室効果ガスを3年間で1%削減する。
--------------------

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源の行動と実践 (冷暖房)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間期は、各出入口の扉を開放し、熱源機の運転時間を削減する。</li> <li>・冷暖房時と中間期の各ダンパーを効率良く適切に開閉する。</li> </ul>	温室効果ガスを3年間で1%削減する。
省エネルギー・省資源の行動と実践 (照明)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED化していない照明をLED機器へ更新する。</li> <li>・テナントの営業時間を考慮し、共有部通路の照明照度や点灯・消灯時間の変更を行う。</li> <li>・照明制御にてスケジュール管理を行い、照明回路を細分化して効率的に省エネルギーに取り組む。</li> </ul>	
省エネルギー・省資源の行動と実践 (OA機器)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離席時は、スリープ機能を活用する。</li> <li>・退社時や外出時は、可能な限りパソコンの主電源を切り、待機電力の削減を行う。</li> </ul>	
省エネルギー・省資源の行動と実践 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した変圧器は、省エネ法に規定されたトッランナー変圧器へ更新。</li> <li>・変圧器容量と契約電力の検討をし、過剰な変圧容量を削減</li> <li>・デマンド制御装置を活用し、最大需要電力・熱量を抑制</li> </ul>	

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

<ul style="list-style-type: none"><li>・電子共有フォルダの利用等によるペーパーレス化</li><li>・店舗排出ゴミの分別計量を行い、リサイクルを図る</li><li>・トイレ手洗い器自動水栓の水量をこまめに調整する</li></ul>
---

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

ガラリ、空調用フィルターの交換・洗浄を実施する。
--------------------------

エネルギー使用量（原油換算）及びエネルギー起源二酸化炭素排出量算定表  
 基準年度（令和 3 年度）

添付

燃料の使用	使用量		単位当たり発熱量		熱量	CO <sub>2</sub> 排出係数		CO <sub>2</sub> 排出量	
	①		②		①×②	③ (参考) ②×③×44/12		①×②×③×44/12 (都市ガスは①×③)	
	数量	単位	単位		GJ	t-C/GJ	単位	t-CO <sub>2</sub>	
原油(コンデンシートを除く)		kL	38.2	GJ/kL		0.0187	2.62	t-CO <sub>2</sub> /kL	
コンデンシート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.0184	2.38	t-CO <sub>2</sub> /kL	
ガソリン	工場等	kL	34.6	GJ/kL		0.0183	2.32	t-CO <sub>2</sub> /kL	
	自動車等	kL	34.6	GJ/kL		0.0183	2.32	t-CO <sub>2</sub> /kL	
ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.0182	2.24	t-CO <sub>2</sub> /kL	
灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.0185	2.49	t-CO <sub>2</sub> /kL	
軽油	工場等	kL	37.7	GJ/kL		0.0187	2.58	t-CO <sub>2</sub> /kL	
	自動車等	kL	37.7	GJ/kL		0.0187	2.58	t-CO <sub>2</sub> /kL	
A重油	工場等	1.0	kL	39.1	GJ/kL	39	0.0189	2.71	t-CO <sub>2</sub> /kL
	自動車等		kL	39.1	GJ/kL		0.0189	2.71	t-CO <sub>2</sub> /kL
B・C重油	工場等		kL	41.9	GJ/kL		0.0195	3.00	t-CO <sub>2</sub> /kL
	自動車等		kL	41.9	GJ/kL		0.0195	3.00	t-CO <sub>2</sub> /kL
石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.0208	3.12	t-CO <sub>2</sub> /t	
石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.0254	2.78	t-CO <sub>2</sub> /t	
液化石油ガス(LPG)	工場等		t	50.8	GJ/t		0.0161	3.00	t-CO <sub>2</sub> /t
	自動車等		t	50.8	GJ/t		0.0161	3.00	t-CO <sub>2</sub> /t
石油系炭化水素ガス		千Nm <sup>3</sup>	44.9	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.0142	2.34	t-CO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup>	
液化天然ガス(LNG)	工場等		t	54.6	GJ/t		0.0135	2.70	t-CO <sub>2</sub> /t
	自動車等		t	54.6	GJ/t		0.0135	2.70	t-CO <sub>2</sub> /t
天然ガス(液化天然ガスを除く)		千Nm <sup>3</sup>	43.5	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.0139	2.22	t-CO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup>	
原料炭		t	29.0	GJ/t		0.0245	2.61	t-CO <sub>2</sub> /t	
一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	2.33	t-CO <sub>2</sub> /t	
無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	2.52	t-CO <sub>2</sub> /t	
コークス		t	29.4	GJ/t		0.0294	3.17	t-CO <sub>2</sub> /t	
コールタール		t	37.3	GJ/t		0.0209	2.86	t-CO <sub>2</sub> /t	
コークス炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	21.1	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.0110	0.85	t-CO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup>	
高炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	3.41	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.0263	0.33	t-CO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup>	
転炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	8.41	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.0384	1.18	t-CO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup>	
都市ガス(東邦ガス)	工場等	25.7	千Nm <sup>3</sup>	45	GJ/千Nm <sup>3</sup>	1,158	2.29	t-CO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup>	
	自動車等		千Nm <sup>3</sup>	45	GJ/千Nm <sup>3</sup>		2.29	t-CO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup>	
その他燃料									
その他燃料									
小計					1,197			62	
他人から供給された 電気及び熱の使用	使用量		単位当たり発熱量		熱量	CO <sub>2</sub> 排出係数		CO <sub>2</sub> 排出量	
	④		⑤		④×⑤	⑥		④×⑥	
	数量	単位	単位		GJ		単位	t-CO <sub>2</sub>	
電気事業者 (中部電力)	昼間	4,066.4	千kWh	9.97	GJ/千kWh	40,542	0.379	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
	夜間	791.2	千kWh	9.28	GJ/千kWh	7,342	0.379	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
その他電気事業者 (事業者名)	昼間		千kWh	9.97	GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
	夜間		千kWh	9.28	GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
その他電気事業者 (事業者名)	昼間		千kWh	9.97	GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
	夜間		千kWh	9.28	GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
その他電気事業者 (事業者名)	昼間		千kWh	9.97	GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
	夜間		千kWh	9.28	GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
上記以外の買電			千kWh	9.76	GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ		0.060	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
温水			GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
冷水		8,921.0	GJ	1.36	GJ/GJ	12,133	0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ	
上記以外の熱			GJ		GJ/GJ			t-CO <sub>2</sub> /GJ	
小計					60,017			2,350	
合計					⑦ 61,214			⑧ 2,411	
自ら生成した熱の他者への供給※			GJ		GJ/GJ			t-CO <sub>2</sub> /GJ	
自ら生成した電気他者への供給※			千kWh		GJ/千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
合計					⑨			⑩	
原油換算エネルギー使用量 (⑦-⑨) × 0.0258					1,579			kL	
エネルギー起源二酸化炭素排出量 ⑧-⑩					2,411			t-CO <sub>2</sub>	

※燃料を使用して生成した熱及び電気を他者へ供給した場合に限る。自然エネルギー等により生成した熱及び電気を他者へ供給した場合は含まれない。

【事業所の規模】	延床面積	14,307.70	m <sup>2</sup>
----------	------	-----------	----------------

【自動車等の数】

① 単位（台）

燃料の種類	乗用	貨物
ガソリン		
軽油		
LPG		
天然ガス		
電気		

②その他の輸送機械

種別	数	単位
鉄道		両
船舶		隻
航空機		機

(以下は該当する場合に記入して下さい)

【排出量抑制目標に原単位排出量を用いる場合】

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

原単位の指標	数量	単位

上記の原単位指標を用いた考え方